

製品名: DIAP2 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab09980

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	125kDa

抗原情報

遺伝子名	DIAPH2 DIA
別名	Protein diaphanous homolog 2 (Diaphanous-related formin-2;DRF2)
遺伝子 ID	1730.0
SwissProt ID	O60879
免疫原	ヒト DIAP2 由来の合成ペプチド

背景

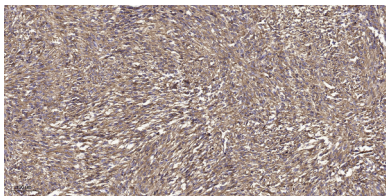
この遺伝子産物は、フォルミン相同タンパク質ファミリーの diaphanous サブファミリーに属します。この遺伝子は、卵巣の発達と正常な機能に關与している可能性があります。この遺伝子の欠陥は、早発卵巣不全 2 と關連付けられています。異なるアイソフォー

ムをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが同定されています。[RefSeq 提供、2008年7月], 発達段階: 卵巣と精巣では E16 から、卵胞の分化過程である P6~P16 に発現します。疾患: DIAPH2 の欠陥は、早発卵巣不全 2 (POF2) [MIM:300511] の原因です。早発卵巣不全 (POF) は卵巣の発達の欠陥であり、低エストロゲン症、原発性または続発性無月経、血清ゴナドトロピン値の上昇、または早期閉経を特徴とします。卵巣機能不全 (POF) は、40 歳未満で卵巣機能が停止することを指します。この疾患は、X 染色体長腕における大きな「臨界領域」の再編成など、様々な原因が考えられています。ドメイン: DRF は分子内 GBD-DAD 結合によって制御され、Rho-GTP は GBD-DAD 相互作用を阻害することで DRF を活性化します。機能: 卵形成に関与している可能性があります。エンドソーム動態の制御に関与しています。RHOD によってアイソフォーム 3 と CSK が順次活性化され、アクチン細胞骨格との相互作用を介して初期エンドソームの運動性を制御する、新たなシグナル伝達経路に関与しています。類似性: フォルミンホモロジーファミリーに属します。ダイアファナス サブファミリー。類似性: DAD (ダイアファナス自己調節) ドメインを 1 つ含みます。類似性: FH1 (フォルミン相同性 1) ドメインを 1 つ含みます。類似性: FH2 (フォルミン相同性 2) ドメインを 1 つ含みます。類似性: GBD/FH3 (Rho GTPase 結合/フォルミン相同性 3) ドメインを 1 つ含みます。細胞内局在: アイソフォーム 3 は細胞質にありますが、RHOD と共発現すると、2 つのタンパク質は初期エンドソームに共局在します。サブユニット: アイソフォーム 3 は、GTP 結合型の RHOD と相互作用します。組織特異性: 精巣、卵巣、小腸、前立腺、肺、肝臓、腎臓、白血球で発現します。

研究分野

-

画像データ



パラフィン包埋ヒト小腸癌組織の免疫組織化学分析。1、DIAPH2 ウサギポリクローナル抗体を 1:200 に希釈した (4°で一晩)。2、クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用して抗原賦活化した (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈した。